

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

事業所名:まごころキャンパス

実施日: 令和3年12月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			活動により工夫できているが日によってさらに工夫する必要あり
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			週によって不足する日はある スタッフ調整を実施予定
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		現在は問題ないが、肢体不自由児の受け入れ状況によっては改善が必要となる。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			業務終了後のミーティングにて振り返りが実施できている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			適切に実施できている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページにて公開できている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	外部の監事による指導を受けている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			オンラインセミナーなどを活用できている
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			適切な間隔で実施できている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		アセスメントツールについて改善の余地あり
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			基本的に複数のスタッフが関わり立案を行なっている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			新型コロナの影響により実施できない活動が複数ある
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		<input type="radio"/>		個別支援計画内に位置づけが必要
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			集団活動をより多く実施できるよう検討する必要がある。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			支援実施前にミーティングを行ない当日の支援について情報共有を実施できている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			支援実施後にミーティングを行ない支援の振り返りを行っており、参加できない職員にも伝達ができている。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			正確な記載を徹底しているものの、スタッフにより差がある
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			1～3か月程度で定期的にモニタリングを実施できている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			新型コロナの影響により地域交流のみ実施できていない
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者を中心に出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			一部の教員や学校との情報共有に課題が残る 引き渡し時の児童の観察をより丁寧にやりたい
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		連絡体制について保護者に確認が必要
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			基本的に問題ないが相談員との連絡調整に改善の余地あり
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			生活介護・就労支援事業所の責任者との面談や見学の受け入れなどを実施している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		基幹相談支援センターとの連携を中心に必要に応じて研修を受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在はほぼないため改善の必要性がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加できている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			口頭連絡・連絡ノート・電子メール・SNS等により保護者と情報共有を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		保護者への助言などはできているもののより専門性が必要。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			サービス提供明細について様式を改良した
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			アウトリーチにはまだ対応の余地あり
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	新型コロナの影響により実施できていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情や要望対応の連絡先を玄関に掲示し、アンケートへの対応記録をホームページに記載している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			SNS等で情報発信を行なっているがホームページに活動報告を載せる必要あり
	35	個人情報に十分注意しているか	○			写真の管理については改善の余地あり
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			障がい特性に配慮した情報伝達を心がけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	実施できておらず今後の課題である。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			策定が進んでいるが、ホームページへの記載などによる保護者への周知が必要である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			実施できているが定期的ではない
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止研修に責任者が参加し、伝達研修の実施を行なっている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			個別支援計画に記載あり(乗車中のシートベルト)
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	問題なく対応できているが医師の指示書には基づいていない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成し共有しているが事例集はない法人内の共有が必要